

にいがたスポ少

News Letter

Niigata Junior Sport Clubs Association News Letter



Vol. **14**



CONTENTS

- 3 本部長あいさつ
- 4 大切なお知らせ
- 6 第45回 全国スポーツ少年団剣道交流大会開催概要
- 6 Friend ship
- 8 スポーツ少年団活動に関するアンケート調査結果報告(概要)
- 11 子供の運動遊び定着のための官民連携推進事業
- 12 令和3年度 顕彰受賞一覧
- 13 令和4年度 第42回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会
開催予定一覧
北信越大会開催予定一覧
- 14 日独ユースキャンプ参加レポート
令和4年度 ジュニア・リーダースクール開催のご案内
新潟県スポーツ少年団リーダー会で活動する団員募集

P15

2020 東京オリンピック・
2022 北京オリンピック出場！

平野 歩夢 選手ら

オリンピック直筆サイン色紙プレゼント！



「体温記録活用アプリ」

テレサ

スポーツイベントの ウイルス対策に！

「テレサ」は、新しい習慣として定着しつつある、毎日の検温や体調の記録をデータベース上で一括管理し、イベントにおける入場管理や学校・企業での健康管理など、さまざまな用途に活用することができるアプリケーションソフトです。

検温や体調管理が必要となる、これからのwithコロナ時代における「安心・安全」の確保のためにお使いいただけます。

iOS版

Android版



体調チェック

管理者

問診入力機能

ユーザー

体温入力機能

ユーザー

入場コード表示

ユーザー

入場管理

管理者

イベント・スポーツ大会

多様な活用方法

学校・企業

LEADING SPORTS

スポーツでつながる。未来をつくる。

新型ウイルス
サポート

アスリート
の育成

国際大会の
運営

ジュニア世代
への普及

地域の
健康づくり

ジュニア
陸上スクール

マーケティング・
マネジメント

私たちは新潟アルビレックスランニングクラブを応援しています。

CORONA

ココカラファイン
ココロ、カラダ、ゲンキ。

三幸製菓

FUKUDA

itp 国際総合計画

LIVING GALLERY

新潟県統一模試会

新潟医療福祉大学

福田道路株式会社

本部長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている皆様に心からお見舞い申し上げます。また、そのような状況下でも関係各位のご尽力により、令和3年度事業の多くを開催することができましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、世界的なコロナ禍の中、異例の開催となったオリンピック・パラリンピックの東京大会、北京冬季大会において、選手の競技に対する真摯な姿を通じ、世界中が数多くの感動や勇気を頂戴し、改めてスポーツの素晴らしさを実感したところです。

私たちスポーツ少年団は、そのスポーツの最初の出会いの場であり、できるだけ多くの地域において、できるだけ様々な競技種目を選べるようにすることが求められていると考えております。

この度、外部有識者を含めた経営検討会議から、新潟県スポーツ少年団を中・長期的な視点に立って持続可能な組織としていくため、スポーツ少年団の理念に基づく「スポ少らしさ」をより発揮させるべきといった様々なご提案をいただき、去る3月3日開催の令和3年度第2回総会において採択しました。今後、専門部等において具体的な内容を検討し、スポーツの楽しさを実感していただけるよう着実に取り組んで参ります。

1月に実施したアンケート調査には、半数近くの単位団からご回答をいただき、誠にありがとうございました。実に91.8%の団が「スポーツを通した青少年の健全育成」を活動の中で最も重視しているという回答を得て、大変心強く感じております。

また、折しも日本スポーツ少年団でも「勝利至上主義を否定し、スポーツの本質である自発的な運動（遊び）から得られる「楽しさ」を享受できる機会をジュニア・ユース世代に提供する」ことを方向性とする「スポーツ少年団改革プラン2022」に取り組むこととなり、公益財団法人新潟県スポーツ協会でも新たに「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」をスタートすると伺っています。

このように、次代を担う子どもたちの運動・スポーツ環境をよりよいものにしようという動きが加速化してきており、新潟県スポーツ少年団でもそれらと緊密に連携を図りながら、理念に基づく活動を力強く推進していきたいと考えていますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

結びにあたり、各スポーツ少年団におかれては、安心・安全に十分留意され、活動していただきますようお願い申し上げます。



新潟県スポーツ少年団
本部長
高橋 正司



令和3年度

新潟県スポーツ少年団 登録状況

区 分	登録数
市町村	28
単位団	553
①団員	10,181
男子	6,886
女子	3,295
②指導者	1,756
③単位団役員・スタッフ	906
④県・市町村役員・スタッフ	194
登録者計①+②+③+④	13,037

競 技	団数	%
軟式野球	145	26.2
空手道	55	9.9
バスケットボール・ミニバスケットボール	54	9.8
サッカー	52	9.4
剣道	48	8.7
バレーボール・ミニバレーボール	44	8.0
柔道	25	4.5
バドミントン	23	4.2
少林寺拳法	19	3.4
複合種目※	14	2.5
ソフトテニス	13	2.4
卓球	11	2.0
その他（スキー、水泳、陸上など19競技）	50	9.0
合 計	553	100

※複合種目とは、数種類のスポーツを並行して行ったり、季節ごとに変えたりして活動を行う形態のことです。



大切な お知らせ



新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた、令和4年度 スポーツ少年団登録(更新登録)に係る緩和措置について

令和4年度緩和措置

令和3年度に引き続き、全ての更新登録単位スポーツ少年団を対象に「理念を学んだ指導者^{※1}」が1名以下でも更新登録することが可能です。

ただし、その場合、登録者(指導者、役員及びスタッフ)のうち、少なくとも1名^{※2}又は2名^{※3}が令和4年度にスタートコーチ(スポーツ少年団)構成講習会の受講を修了する必要があります。

なお、新規登録単位スポーツ少年団は、初年度に限り「スポーツ少年団の理念を学んだ指導者」を必置としていないため、コロナ禍を理由とした特例措置は設けられておりません。

※1：理念を学んだ指導者：令和元年度にスポーツ少年団認定育成員・認定員の資格を保有していた者またはスタートコーチ(スポーツ少年団)資格保有者

※2：「スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者」が1名の場合

※3：「スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者」がいない(0名)場合

令和4年度緩和措置の理由

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会が中止となったため、令和3年度から同講習会の開催が実質的にスタートしました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により急遽オンライン開催に変更するなど、受講希望者に十分な機会を設けられていない可能性があったことから、令和4年度のスポーツ少年団登録手続き時に「理念を学んだ指導者」を2名以上登録させることができない(つまり団として登録できない)単位スポーツ少年団が発生し得る事態となったためです。



スポーツ少年団登録規程施行催促(一部抜粋)

3. 単位スポーツ少年団は、原則として別表に定めるとおり、団員10名以上と指導者2名以上で構成される。また、20歳以上の指導者、役員およびスタッフのうち計2名以上の登録を必須とする。

4. 前項における指導者は、少なくともその2名以上をスポーツ少年団の理念を学んだ者〔令和元(2019)年度にスポーツ少年団認定育成員・認定員の資格を保有していた者またはスタートコーチ(スポーツ少年団)資格保有者〕としなければならない。

中略

附則17

2. 第2条第4項は、令和4年度に限り全ての更新登録単位スポーツ少年団において、これを適用しない(「スポーツ少年団の理念を学んだ指導者」が1名以下でも更新登録することを可能とする)。ただし、次の(1)または(2)を満たす必要がある。

(1)スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者が1名の場合

この1名を除いた指導者、役員およびスタッフのうち少なくとも1名が、令和4年度にスタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の受講を修了すること。

(2)スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者がいない(0名)の場合

指導者、役員およびスタッフのうち少なくとも計2名が、令和4年度にスタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の受講を修了すること。

別表(単位スポーツ少年団として構成・登録する際に必要となる最低人数)

		指導者				役員		スタッフ		団員
		理念 ○	理念 ○	理念 ×	理念 ×	20 歳 以上	20 歳 未満	20 歳 以上	20 歳 未満	
		20 歳 以上	20 歳 以上	18 歳 以上	20 歳 以上	20 歳 以上	20 歳 未満	20 歳 以上	20 歳 未満	
パターン	A	2名								10名
	B	1名	1名	1名						10名
	C	1名	1名			1名				10名
	D	1名	1名					1名		10名
	E		2名	2名						10名
	F		2名	1名		1名				10名
	G		2名	1名				1名		10名
	H		2名			2名				10名
	I		2名			1名		1名		10名
	J		2名					2名		10名

理念○：第2条第4項に定めるスポーツ少年団の理念を学んだ者〔令和元(2019)年度にスポーツ少年団認定育成員・認定員の資格を保有していた者またはスタートコーチ(スポーツ少年団)資格保有者〕。

！ スタートコーチ(スポーツ少年団)の養成について

スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会は、スポーツ少年団において子どもが初めてスポーツをする際の受け皿(スポーツの入り口)の役割を担ううえで、指導者が最低限、身につけておくべき内容をカリキュラムとしております。

スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を受講・修了することにより、「理念を学んだ指導者」としてスポーツ少年団に登録することが可能です。ただし、令和4年度にスタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を修了されても資格認定は、令和5年10月1日となることから令和4年度に指導者としてスポーツ少年団に登録することはできません。(令和5年度からスポーツ少年団に「理念を学んだ指導者」として登録は可能です。)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンライン形態により、下記の期間でスタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を実施する予定としております。正式な参加者募集は、スポーツ少年団登録システムを通じた登録代表メールアドレスあてメール及び県スポーツ協会Webサイト等を通じてご案内します。

コース名	e-ラーニング「スマートスタディ」実施期間(予定)	グループワーク実施日時(予定)	定員	受講料等(税込み)
オンラインコース①	令和4年9月1日(木)～26日(月)	令和4年10月8日(土)10:00～12:00	80名	7,150円 (内訳) 受講料:4,400円 テキスト代:2,200円 システム利用料:550円
		同日14:30～16:30	80名	
オンラインコース②	令和4年10月1日(土)～26日(水)	令和4年11月6日(日)10:00～12:00	80名	
		同日14:30～16:30	80名	
オンラインコース③	令和4年11月1日(火)～26日(土)	令和4年12月4日(日)10:00～12:00	80名	
		同日14:30～16:30	80名	

※e-ラーニング「スマートスタディ」：オンライン上で講義動画を視聴し、検定試験を受験していただく学習方法です。

※グループワーク：e-ラーニング「スマートスタディ」で講義動画の視聴及び検定試験を合格された方を対象にオンラインでグループワークを実施いたします。

※スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の受講にあたっては、オンライン参加のためのパソコン・スマートフォン等の機器、インターネット環境が必要になります。

！ コーチングアシスタント移行申請について

「スポーツ少年団認定員」の資格保有者は、併せて「日本スポーツ協会(以下「JSPO」という。)公認スポーツ指導者資格」の一つである「スポーツリーダー」の資格を保有されております。令和元年度にスポーツ少年団登録において「スポーツ少年団認定員」登録者であった方で、令和6年度以降も「理念を学んだ指導者」として登録を希望される場合は、下記表のとおり、令和5年11月までに「コーチングアシスタント」への移行申請をお願いします。

なお、「コーチングアシスタント」への移行申請にあたっては、新たに講習会等を受講していただく必要はなく、日本スポーツ協会指導者マイページからの申請と資格登録手続きのみで資格移行が可能です。詳しくは下記URLより手続きマニュアルをご覧ください、申請手続きを行っていただきますようお願いいたします。

〈日本スポーツ協会WebサイトURL〉

<https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid1226.html>

コーチングアシスタント移行申請期間

移行申請	登録手続き	資格有効期間
～令和4(2022)年5月	～令和4(2022)年9月	令和4(2022)年10月1日～令和8(2026)年9月30日
～令和4(2022)年11月	～令和5(2023)年3月	令和5(2023)年4月1日～令和9(2027)年3月31日
～令和5(2023)年5月	～令和5(2023)年9月	令和5(2023)年10月1日～令和9(2027)年9月30日
～令和5(2023)年11月	～令和6(2024)年3月	令和6(2024)年4月1日～令和10(2028)年3月31日

！ スポーツ少年団登録システムを活用した一斉メール送信の運用について

スポーツ少年団事業(大会・講習会等)の参加者募集や県スポーツ協会が開催する子どもの運動・スポーツに関するイベントなど、スポーツ少年団や子どものスポーツ活動にとって有益と判断した情報について、単位団に一斉送信する場合がありますのでご了承願います。

第45回 全国スポーツ少年団剣道交流大会開催概要

全国スポーツ少年団剣道交流大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、第42回長野大会、第43回福島大会、第44回高知大会と3年連続で中止になりました。

新型コロナウイルス感染症の収束を願いながら新潟大会が無事開催できるよう準備を進めてまいります。

会期

令和5年3月25日(土)～27日(月)

会場

謙信公武道館(新潟県立武道館)

参加者(予定)

小学生団体戦48チーム 288名(団員5名・指導者1名)
中学生男女個人戦96名



主な日程(予定)

日程	内容
3月25日(土)	開会式・指導者研修・交歓交流会
3月26日(日)	団体戦予選リーグ・個人戦予選リーグ
3月27日(月)	団体戦決勝トーナメント・個人戦決勝トーナメント・閉会式

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から試合を除くプログラムを変更する場合があります。

第44回全国スポーツ少年団剣道交流大会及び第19回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら中止になりましたが、大会中止前に参加単位団・参加者に全国大会参加の意気込み等をいただきましたので、掲載しております。

Friend ship 元気な仲間たち①

直江津剣道スポーツ少年団



活動場所: 上越市立直江津南小学校体育館

活動日: 週2回 毎週月曜日・金曜日(19:00～20:30) 日曜日非定期(8:00～9:30)

団員数: 男子 10人 女子 10人

指導者数: 男性 10人 女性 1人

活動や取り組み

「黙想」リーダーの声、厳しい稽古をやり終えた達成感、ほとばしる汗にも体制を崩さず正座を保つ。清々しいみんなの顔は将来、

第44回全国スポーツ少年団 剣道交流大会団体戦出場

2022.3.26(土)～28(月)

自立して社会を支える大事な時期を過ごしている事を実感させています。昭和44年「剣道を通じて健全な少年少女の育成に貢献する」を目的に発足し、令和元年50周年を迎えました。剣道の競技という面からは、「勝利する喜び」も大事ですが、当団が主催する大会をはじめ出来るだけ多くの対外試合に臨み、団員同士の交流を深めることが継続への原動力になり、この経験が気力体力を鍛え、文武両道の実践となっていると感じております。団としては「県内上位レベルになる」を目標に、その為には「休まず通う事」を指導者と保護者二人三脚で取り組んでいます。

全国大会への意気込み

このたび、3月26日～28日高知県で開催される第44回全国大会に新潟県代表として出場することになりました。大会に臨んでは、優勝した時の勢いとチームワークを大事にし個々人の得意技にさらなる磨きをかけ、上位入賞を目指すと共に選手間の交流を大切にしたいと思っています。三日間という全日程を精一杯勤め他チームの良い所をしっかりと学んで良い思い出にしたいと思います。



個人戦 中学生男子

新発田市剣道
スポーツ少年団

高野 剣斗(3年)

新発田市剣道スポーツ少年団の高野剣斗です。全国大会という素晴らしい舞台で試合をさせていただけることをとても嬉しく思います。今までお世話になった全ての方への感謝の気持ちを胸に自分のベストを尽くしたいと思います。

個人戦

個人戦 中学生女子

白根剣士会道場
スポーツ少年団

櫻井あゆ未(2年)



コロナ禍で県外の人と例年のように練習試合が出来ず、部活や県内だけの練習になっていたものが、スポーツ少年団の全国大会に出場できることが決まり、全国レベルの選手と試合や交流ができることが当たり前ではないと実感しました。この機会を大切に、一つ一つの試合を大事にし、自分の剣道を100%発揮できるように頑張ります。2年生ですが、一つでも多く勝てるように一生懸命試合をしようと思います。

Friend ship 元気な仲間たち②

能生スポーツ少年団



活動場所: 能生体育館・能生小学校・能生中学校

活動日: 週4回 月曜日・木曜日・金曜日(18:30~20:30) 土曜日: 午前中

団員数: 男子 13人 女子 12人

指導者数: 男性 7人

活動や取り組み

能生スポーツ少年団には男子チームと女子チームがあります、女子チームは能生地区単独で活動しています、男子チームは、能

第19回全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会(男子)出場

2022.3.27(日)~29日(火)

生地区単独で大会に参加してきましたが4年前から単独では活動が難しくなり、上越地区の2チームに声を掛け夏休み頃から毎週土曜日に能生体育館を拠点にして練習をしています。

スポーツ少年団の大会ではチームメートとして試合に望んでいますが日頃の大会ではライバル同士お互いに練習してきたことが試合でも出来るように頑張っています。

今年はバレーボールの大好きな子どもたちが楽しく練習できたことで全国大会に出場することができ、子どもたちの大きな財産となりました。

全国大会への意気込み

今年も北信越代表を目指して、北信越ブロック大会に臨みましたが、参加チームは全国的にも名の知れた強豪チームでありましたが、子どもたちには「同じ小学生同士、練習してきたことができればチャンスはあるよ」と話して試合に臨み、全国大会への切符を獲得できました。

北信越大会の経験を生かし、北信越5県の代表として全国9地区のスポーツ少年団の仲間達と競い合い、交流を深め、優勝を目指して大会に参加していきます。

Friend ship 元気な仲間たち③

長岡HAYATEスポーツ少年団



活動場所: 四郎丸小学校、長岡市立高等総合支援学校ほか

活動日: 週4回 平日3日(17:00~19:00)・土曜日(9:00~15:00)

団員数: 女子 12人

指導者数: 男性 2人

活動や取り組み

2007年に中学、高校でも活躍、競技継続できる選手を育てることを目的に長岡南ジュニアバレーボールクラブを設立し、令和

第19回全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会(女子)出場

2022.3.27(日)~30日(水)

元年に長岡HAYATEに改名して15年目になります。平日は身体能力と体力の向上を目的に、器械体操などを取り入れながら、バレーボールの基本的な動き、パスやサーブといったバレーボールの基礎練習を中心に活動しています。

入館から退館までが練習。日々の行動力を意識して頑張っています。また、毎週月曜日には卒団した中学生も参加し、小中学生が刺激し合いながら一緒に練習を行っています。バレーボールというチームスポーツを通じて人間性を高め、様々な場面で活躍できる人材に成長して欲しいと考えています。

全国大会への意気込み

今年のチームには絶対的な選手はいませんが、みんなが複数のポジションをこなせる選手に成長しました。対戦相手に臨機応変に対応しながら、モットーでもある「どーせやるなら日本一!」を目標に全国制覇(ブロック優勝)を目指して戦ってきたいと思います。また、昨年、一昨年と全国大会を目指した先輩たちの想いを忘れずに新潟県代表のプライドを持って頑張りたいと思います。

ENJOY "DOOA"!

小さな自然を
室内で楽しむ。



魅力的な熱帯植物や水草が手軽に栽培できるDOOAの製品ラインナップ。小型水槽と照明器具の組み合わせで、ご家庭でもオフィスでも場所を選ばず「小さな自然」を楽しむことができます。詳しい製品情報や販売店情報は、DOOAホームページをご覧ください。



dooa.jp



スポーツ少年団活動に関する アンケート調査結果報告(概要)

日本スポーツ少年団では、新型コロナウイルス感染拡大による団員数の大幅な減少や国が主導する休日の部活動の段階的な地域移行など、子どもを取り巻く環境が変化する中で、今後のスポーツ少年団の活動を不安視する意見・要望が多数寄せられたことを受け、スポーツ少年団緊急対策プロジェクトを設置し、各都道府県スポーツ少年団等の意見を聴取するなど、様々な視点で検討を進めております。本県においてもスポーツ少年団活動の活性化に向けた方策を検討するため、アンケート調査を実施しましたので概要を報告します。

ご回答いただきました単位団の皆様、ご協力ありがとうございました。

なお、詳細は、新潟県スポーツ協会のウェブサイトに掲載します。

〈新潟県スポーツ協会WebサイトURL〉 <https://www.niigata-sports.or.jp/>

【調査実施概要】

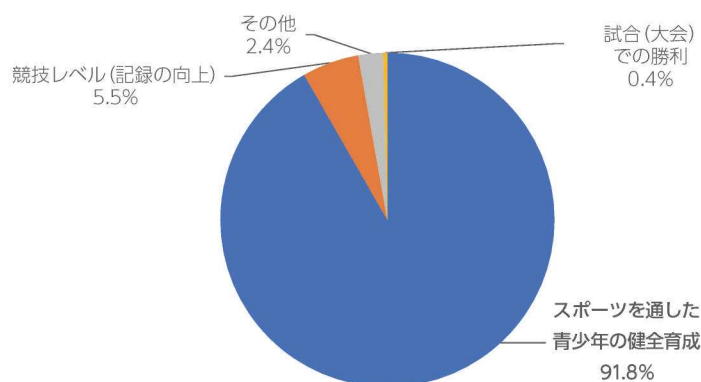
- ・調査名：スポーツ少年団活動に関するアンケート
- ・調査期間：令和4年1月11日(火)～1月28日(金)
- ・調査対象：令和3年度スポーツ少年団登録単位スポーツ少年団（以下、「単位団」という。） 新潟県内553単位団
- ・調査方法：Web調査（Web回答フォームをメールで配信）
- ・回答単位団数：255団（回答率46.1%）

【調査結果】（一部抜粋）

スポーツ少年団の理念及び活動について【図表1】

スポーツ少年団の「理念」について尋ねたところ、96.9%が「知っている」と回答しており、多くの単位団においてスポーツ少年団の「理念」が認識されていることが伺えました。

また、スポーツ少年団活動の中で最も重視している点については、「スポーツを通した青少年の健全育成」の回答が91.8%で最も多く、本県の単位団においてスポーツ少年団の「理念」に沿ったスポーツ少年団活動が行われていることが分かりました。

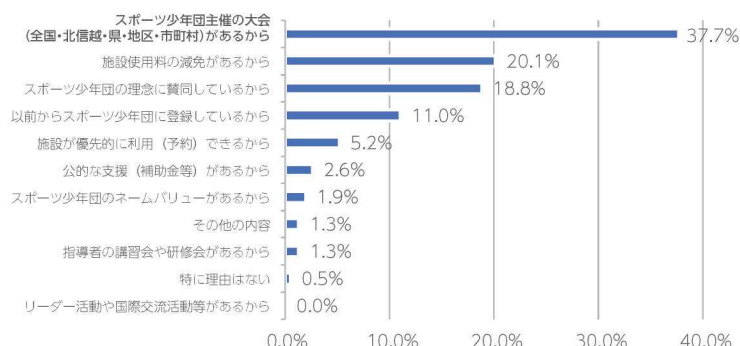


【スポーツ少年団活動の中で最も重視している点】(図表1)

スポーツ少年団に登録する理由について【図表2】

スポーツ少年団に登録する理由で「最も重視している点」について尋ねたところ、「スポーツ少年団主催大会があるから」が37.7%と最も多く、次いで「施設使用料の減免があるから」が20.1%、「スポーツ少年団の理念に賛同しているから」が18.8%になりました。単位団の多くは、スポーツ少年団主催大会に参加することも目的にスポーツ少年団に登録していることが伺えました。

なお、日本スポーツ少年団事業認知度調査（令和3年7月）でも「スポーツ少年団に登録する理由」についての設問がありましたが、全国的にみてもほぼ同じ傾向となりました。



【スポーツ少年団に登録する理由で最も重視している点】(図表2)

中学生以上が登録する理由について

中学生以上が登録する単位団を対象に中学生以上が登録する理由について尋ねたところ、「団員が登録を希望しているから」と「指導者が勧めている」が同率の25.0%で最も多く、次いで「部活動の実施種目にないから」が14.3%になりました。

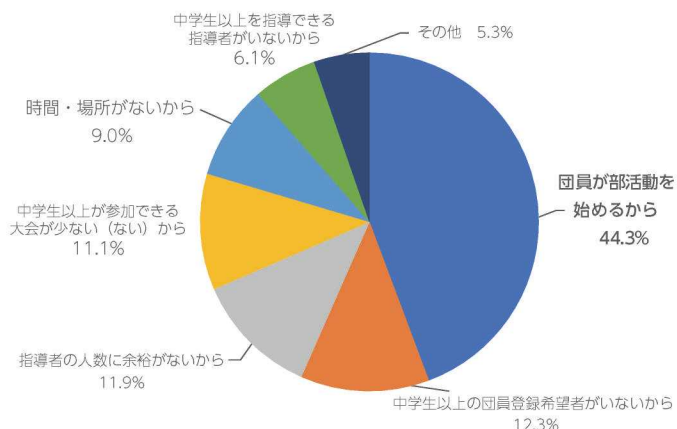
なお、中学生以上が継続して登録するための取組事例を尋ねたところ、「部活動以外で練習(活動)するため」や「指導者・初心者等のサポート」などの回答がありました。

団員の受入が可能な学年等及び

活動受入の終期について

【図表3】

団員の受入が可能な学年等について尋ねたところ、「小学校低学年（1～3年生）から」が52.5%で最も多く、次いで「未就学児から」26.3%、「特に制限はない」が14.9%になりました。そのことから、本県において未就学児又は小学校低学年（1～3年生）からスポーツ少年団に所属することができる環境であることが伺えました。また、団員の活動受入の終期については、「小学6年生まで」が53.7%で最も多く、次いで「特に制限はない」が28.2%になりました。半数以上の単位団が小学6年生までの活動受入としており、その理由については、「部活動を始めるから」が44.3%と最も多く、部活動を理由にスポーツ少年団から離れていくことが伺えました。



【団員の活動終期の理由】（図表3）

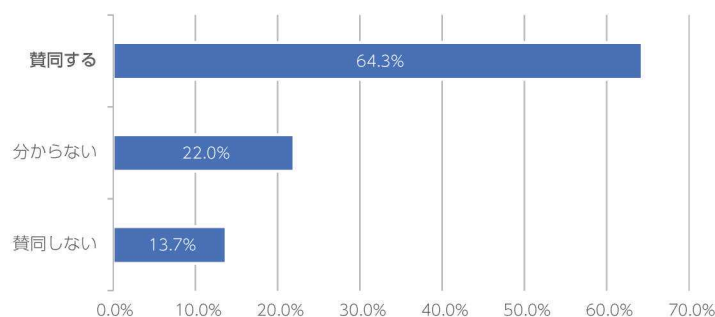
※団員の受入を「小学6年生」までと回答した方を対象にした設問の回答

新潟県スポーツ少年団主催大会（県大会・地区大会）におけるスポーツ少年団独自の

ローカルルールを設けることについて

【図表4】

新潟県スポーツ少年団主催大会（県大会・地区大会）におけるスポーツ少年団独自のローカルルール（例：試合への全員出場など）を設けることについて尋ねたところ、「賛同する」が64.3%で最も多く、「賛同しない」は、13.7%になりました。スポーツ少年団主催大会にスポーツ少年団独自のローカルルールを設けることについて、単位団から一定の理解があることが伺えました。



【スポーツ少年団独自のローカルルールを設けることについて】（図表4）

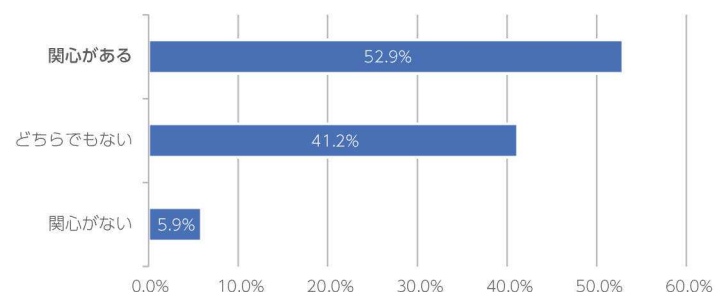
スポーツ少年団活動を通じたSDGsや

社会貢献活動・教育活動について

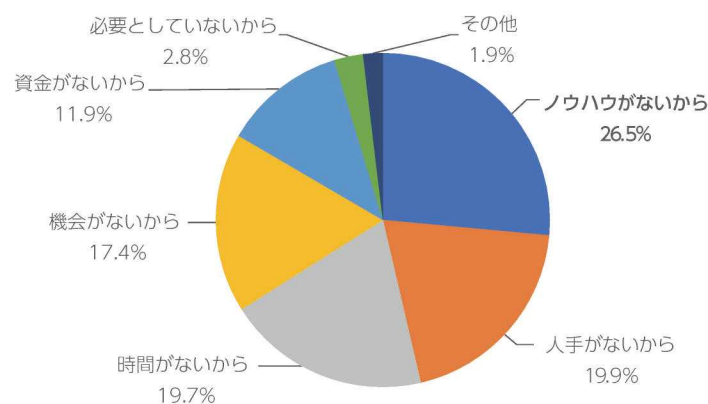
【図表5】 【図表6】

スポーツ少年団活動を通じたSDGsや社会貢献活動・教育活動についての関心等について尋ねたところ、「関心がある」が52.9%で最も多く、次いで「どちらでもない」が41.2%になり、半数以上の単位団で関心があることが伺えました。一方で、「必要性を感じているが単位団での実践は難しい」45.1%と約半数の単位団では、関心があるものの単位団での実践は難しいとの回答がありました。また、その理由については、「ノウハウがないから」26.5%、「人手がないから」19.9%などの理由が挙げられたことから、県スポーツ少年団や市町村スポーツ少年団等で単位団がSDGsや社会貢献活動・教育活動を実践できる環境を整える取り組みが求められていると考えます。

なお、既にSDGsや社会貢献活動・教育活動を実践している単位団も一定数おり、その内容は、清掃（美化）活動が最も多かったところです。



【スポーツ少年団活動を通じたSDGsや社会貢献活動・教育活動について】（図表5）



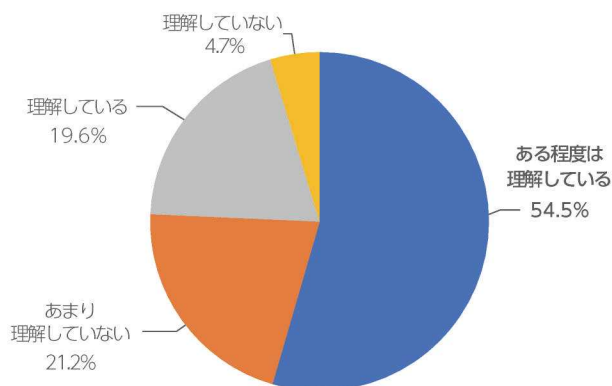
【スポーツ少年団活動を通じたSDGsや社会貢献活動・教育活動の実践が難しい理由】（図表6）

※スポーツ少年団活動を通じたSDGsや社会貢献活動・教育活動について、「必要性を感じているが単位団での実践は難しい」、「実践していない」、「実践するつもりはない」と回答した方を対象にした設問の回答

休日の部活動の段階的な地域移行について 【図表 7】

国が主導する「休日の部活動の段階的な地域移行」について、その内容の理解度を尋ねたところ、「ある程度は理解している」が54.5%、「理解している」が19.6%であり、約7割の単位団において一定の理解があることが伺えました。そのうちの約半数は、単位団が「部活動（中学校）の受け皿（受け入れる組織）になれる」の回答がありました。また、「部活動と連携していきたい」と回答した単位団は、38.8%であり、本県の単位団では、休日の部活動の段階的な地域移行について、前向きな意向を持っていることが伺えました。その一方で、「受け皿になることはできない」と回答した単位団は、33.5%であり、その理由については、「指導者の人数に余裕がない」34.9%、「時間がない（合わない）から」25.3%などであったことから、指導者に関する課題が挙げられました。

なお、既に部活動と連携している単位団も一定数おり、部活動への指導者の派遣や部活動の時間外での指導などの例がありました。



【休日の部活動の段階的な地域移行の理解度】(図表 7)

総合型地域スポーツクラブとの連携について

総合型地域スポーツクラブ（以下、「クラブ」という。）と単位団の連携について尋ねたところ、「関わりがない」が86.3%であり、現時点でクラブと単位団との関わりはほとんどなく、関わりがない理由としては、「クラブとの連携の仕方が分からないから」37.9%、「クラブが近くにないから」36.7%であり、単位団とクラブで接点が少ないことが伺えました。

これは、本調査の回答総数の23.5%を占める新潟市において1クラブしかなく、また、クラブ設置数も30市町村のうち20市町であることが一つの要因だと推測されます。

スポーツ少年団活動の充実に向けて

令和2年度新潟県スポーツ少年団第2回総会において、スポーツ少年団登録者の減少に伴い、財政の悪化と諸活動の不活性化が顕著になってきているため、新潟県スポーツ少年団正・副本部長に外部有識者を加え、スポーツ少年団を取り巻く諸課題を整理・検討し、経営的観点による改善策を新潟県スポーツ少年団総会に提案することを目的に「新潟県スポーツ少年団経営検討会議」の設置について、承認されました。その後、会議を重ねた結果、スポーツ少年団の理念に即した活動をより明確化し、実践することが子どもたちの社会性・教育性を育むと同時に新潟県スポーツ少年団の持続可能な経営改善に繋がるとの結論に達し、以下の提案内容を令和3年度新潟県スポーツ少年団総会（令和4年3月3日開催）に提案し、満場一致で承認されました。

- ①スポーツ少年団の理念に基づく活動を更に強化し、競技団体や民間営利クラブとの違い、強み（特色）をアピールしていく必要がある。
- ②子どもたち（団員）はもとより、保護者や地域・学校・行政・企業など、スポーツ少年団を取り巻くステークホルダーへのアプローチを強化し、支援の輪を広げていく必要がある。
- ③SDGs、社会貢献など、スポーツ少年団と親和性の高い活動の実践を通じて、団員の社会性や教育性を育む活動を拡大する必要がある。
- ④日本スポーツ少年団の一員として「スポーツ少年団改革プラン2022」と連携した活動を推進する必要がある。
- ⑤県スポーツ協会の活動と緊密に連携し、運動・スポーツに親しむ子どもたちを増やすとともに、財政基盤の強化を図る必要がある。
- ⑥スポーツ・インテグリティの確立に取組み、特に指導者の資質向上を図る必要がある。
- ⑦スポーツ少年団独自ルールを導入し、大会・試合でより多くの子どもたちが出場できる機会を拡大するなど、新潟県スポーツ少年団としてできる新しい取組にチャレンジする必要がある。
- ⑧日本スポーツ協会（JSPO）が開発した子どもが発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムである「アクティブ・チャイルド・プログラム（JSPO-ACP）」の普及に努める必要がある。
- ⑨これらの提案について、組織内（総会・指導者協議会・専門部・リーダー会）で検討し、取組可能なものから順次着手する必要がある。また、社会経済情勢や子どもたちのスポーツ環境の変化などに応じ、柔軟に見直し、検討していく必要がある。

以上の「提案」を踏まえ、組織内にて具体的な内容について更に検討を重ねるとともに市町村スポーツ少年団や競技団体等と連携を図りながら、提案内容を実行に移していきます。

また、公益財団法人新潟県スポーツ協会においても令和4年度からパートナー企業の協賛を得て「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」（以下、「プロジェクト」という。）に取り組むこととしており、プロジェクトでは、親子などを対象として、運動遊びや様々なスポーツ体験を行う「スポーツ体験キャラバン」を県内数か所で開催するとともに、専用ウェブサイトや広報を通じて子どものスポーツに関する啓発活動を展開する予定です。新潟県スポーツ少年団としても子どもたちの健やかな育成とスポーツ振興を図るため、プロジェクトの実施に連携・協力し、スポーツ少年団の普及と活性化を推進するとともにプロジェクトを通じて単位団がSDGsや社会貢献などを実践できる機会・環境を構築していきたいと考えております。

子供の運動遊び定着のための官民連携推進事業

アクティブ・チャイルド・プログラム(JSPO-ACP)を活用したイベント開催概要について

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大に備えた外出自粛により、子供の運動機会が減少し、子供の体力低下と運動習慣の喪失は、今後の心身の成長に大きな影響を及ぼすことが予想されております。

本県では、官民連携によりアクティブ・チャイルド・プログラム（JSPO-ACP）を活用して、運動遊びを行う環境や日常的にスポーツを行う場を持たない子供たちが身体を動かすことの楽しさと喜びを体験する環境を整えることで運動習慣の定着に至ることを目的とした日本スポーツ協会委託事業を実施しました。多くの子どもたちや親子が参加し、元気に身体を動かしました。



No.	開催日	開催場所	主催団体	事業名／実施内容	実績参加人数
1	7月24日(土)	三和体育館	公益財団法人新潟県スポーツ協会 NPO 法人さんわスポーツクラブ	親子キッズスポーツ教室	13名
2	8月4日(水)	村上体育館	公益財団法人新潟県スポーツ協会 NPO 法人ウェルネスむらかみ	夏休み うんどうひろば	30名
3	8月10日(火)	村上体育館	公益財団法人新潟県スポーツ協会 NPO 法人ウェルネスむらかみ	夏休み うんどうひろば	30名
4	8月21日(土)	関川村村民会館 アリーナ	公益財団法人新潟県スポーツ協会 関川スポーツ少年団 関川村教育委員会	アクティブ・チャイルド・プログラム 「親子で楽しく運動しよう!!」	8名
5	9月5日(日)	佐渡市総合体育館 1階アリーナ(B、Cコート)	公益財団法人新潟県スポーツ協会 一般財団法人佐渡市スポーツ協会	親子で楽しく遊ぼう！ アクティブ・チャイルド・プログラム	39名
6	9月19日(日)	上越市教育プラザ体育館 第一体育室	公益財団法人新潟県スポーツ協会 上越市スポーツ少年団	いろいろスポーツ体験教室	29名
7	9月25日(土)	関川村村民会館 アリーナ	公益財団法人新潟県スポーツ協会 関川スポーツ少年団 関川村教育委員会	アクティブ・チャイルド・プログラム 「親子で楽しく運動しよう!!」	8名
8	10月2日(土)	デンカビッグスワンスタジアム 屋内走路	公益財団法人新潟県スポーツ協会 株式会社新潟アルビレックスランニングクラブ	親子ふれあい教室	90名
9	10月3日(日)	新潟市陸上競技場	公益財団法人新潟県スポーツ協会 公益財団法人新潟市スポーツ協会	スポーツ体験フェスタ2021	34名
10	10月17日(日)	上越市教育プラザ体育館 第二体育室	公益財団法人新潟県スポーツ協会	親子体操会	72名
11	10月23日(土)	三和体育館	公益財団法人新潟県スポーツ協会 NPO 法人さんわスポーツクラブ	親子キッズスポーツ教室	15名
12	11月6日(土)	関川村村民会館 アリーナ	公益財団法人新潟県スポーツ協会 関川スポーツ少年団 関川村教育委員会	アクティブ・チャイルド・プログラム 「親子で楽しく運動しよう!!」	12名
13	11月19日(金)	津南町総合センター 体育館	公益財団法人新潟県スポーツ協会 NPO 法人Tap	みんなで元気アップ！ ツナン・アクティブ☆チャイルド☆プログラム	22名
14	11月20日(土)	下田体育館	公益財団法人新潟県スポーツ協会 三条市スポーツ少年団	ジュニアスポーツチームにおける 運動あそびの導入研修会	18名
15	11月21日(日)	水原中学校	公益財団法人新潟県スポーツ協会 NPO 法人阿賀野市総合型クラブ	阿賀野市ACPかけっこ教室	47名
16	11月23日(火祝)	三島体育センター	公益財団法人新潟県スポーツ協会 公益財団法人長岡市スポーツ協会 長岡市スポーツ少年団	長岡元気ッズ体力アップ体験会	65名
17	11月28日(日)	神林総合体育館	公益財団法人新潟県スポーツ協会 NPI 法人希楽々(主管)	エンジョイキッズアカデミー	38名
18	11月28日(日)	蓮野小学校	公益財団法人新潟県スポーツ協会 NPO 法人スポネットせいらう(共催)	なかまと一緒に！ 集団あそび教室	32名
合 計					602名



令和3年度 顕彰受賞一覧

今年度表彰された方々の功績に敬意を表しお名前をご紹介します。

日本スポーツ少年団顕彰表彰スポーツ少年団

市町村名
見附市スポーツ少年団
加茂市スポーツ少年団

日本スポーツ少年団顕彰表彰登録者

(敬称略)

登録者名	単位団名	市町村	種目
中倉 一浩	新潟中央柔道スポーツ少年団	新潟市	柔道
室賀 大樹	長岡蒼柴柔道スポーツ少年団	長岡市	柔道

新潟県スポーツ少年団顕彰表彰単位団

単位団名	市町村	種目
豊栄ジュニア卓球クラブスポーツ少年団	新潟市	卓球
長岡蒼柴スポーツクラブスポーツ少年団	長岡市	柔道

新潟県スポーツ少年団顕彰表彰登録者

(敬称略)

指導者名	単位団名	市町村	種目
丸山 貴裕	長岡市柔道教室スポーツ少年団	長岡市	柔道
檜木 祐一	稲田剣道スポーツ少年団	上越市	剣道
後藤 朋和	Victory Spirits 阿賀野スポーツ少年団	阿賀野市	軟式野球
松川 周子	水原ソレイユスポーツ少年団	阿賀野市	バレーボール
柳瀬 良平	小出青空野球教室スポーツ少年団	魚沼市	軟式野球
藤岡 和則	小出青空野球教室スポーツ少年団	魚沼市	軟式野球

日本スポーツ少年団表彰受賞にあたって



見附市スポーツ少年団

本部長：菊池 孝

この度は「日本スポーツ少年団顕彰」を頂戴し、心より感謝申し上げます。
見附市スポーツ少年団は1970年に設立され、現在は21団15種目の団体が構成されております。団事業として毎年1月に「新年安全祈願祭」を企画し、スポーツ活動における1年の安全を祈願するほか、体力測定と指導者講習会を実施し、団員同士の交流及び指導者のスキルアップの場として長年活用しております。また、見附市総合型地域スポーツクラブ“MIKE スポ”と協同し「みつつけスポーツフェスタ」を毎年開催。体験ブースを設置し新規団員確保及びスポーツ機会の提供に取り組んでおります。

今後も活動を通じ、青少年の健全な育成により一層励んで参ります。



加茂市スポーツ少年団

本部長：横山 正明

この度は、「日本スポーツ少年団顕彰表彰」をいただき心よりお礼申し上げます。17の団体が構成している加茂市スポーツ少年団は、例年4月上旬の「合同入団式」から活動をスタートしています。日々団体ごとの活動以外にも、加茂市主催の「健康ウォーク」や「元旦マラソン」などに参加することで、体を動かすことの大切さや楽しさを共有し、「加茂山一斉清掃」や「加茂川一斉清掃」などボランティア活動にも積極的に参加することで、市内の豊かで美しい自然を大切にすることを育てています。

今年度は、コロナ禍で思うような活動が残念ながらできませんでしたが、「スポーツ少年団の活動の原点」を大切にして、今後も活動に励みたいと思います。

》 令和4年度 第42回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会開催予定一覧

期日・会場

競 技	期 日	会 場
剣道	令和4年10月9日(日)	長岡市北部体育館(長岡市)
卓球	令和4年8月11日(木・祝)	白根カルチャーセンター(新潟市南区)
バドミントン 団体戦 個人戦	令和4年4月24日(日) 令和4年8月中(予定)	長岡市市民体育館(長岡市) 佐渡市総合体育館(佐渡市)
柔道	令和4年9月25日(日)	新津武道館(新潟市)
空手道	令和4年11月6日(日)	長岡市みしま体育館(長岡市)
軟式野球 予備日	令和4年6月18日(土)～19日(日) 令和4年6月25日(土)～26日(日)	三条パール金属スタジアム(三条市)
サッカー小学生	令和4年9月17日(土)～18日(日)(予定)	長岡市ニュータウン運動公園サッカー場ほか(長岡市)
バレーボール	令和4年9月10日(土)	長岡市みしま体育館(長岡市)
少林寺拳法	令和4年7月24日(日)	西川総合体育館(新潟市)
ミニバスケットボール 予選 決勝	令和4年8月20日(土)～21日(日) 令和4年8月27日(土)～28日(日)	長岡市民体育館、長岡市北部体育館ほか(長岡市)

※発行時点での予定ですので、止むを得ない事情で変更になる場合があります。正式な開催通知等でご確認ください。

※詳細は市町村スポーツ少年団及び県スポーツ協会Webサイトを通じて案内します。

※「軟式野球」「サッカー小学生」「バレーボール」「バドミントン個人戦」は県大会出場のための地区大会を開催します。



》 北信越大会開催予定一覧

期日・会場

大会名	期 日	会 場
第44回全国スポーツ少年団 軟式野球交流大会北信越大会	令和4年7月2日(土)～3日(日)	みどり森の運動公園野球場(新潟市) 鳥屋野運動公園野球場(新潟市)
第20回北信越ブロックスポーツ少年 団競技別交流大会 ミニバスケットボール(女子) 卓球(男子・女子) バドミントン(女子)	ミニバスケットボール 令和4年8月27日(土)～28日(日) 卓球・バドミントン 令和4年7月30日(土)～31日(日)	ミニバスケットボール ロジテックアリーナほか(長野県伊那市) 卓球 飯山市民体育館(長野県飯山市) バドミントン 上田自然運動公園総合体育館(長野県上田市)
第20回全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会 北信越大会	令和4年11月5日(土)～6日(日)	長野運動公園総合体育館(長野県長野市)

※発行時点での予定ですので、止むを得ない事情で変更になる場合があります。

日独ユースキャンプ参加レポート

観戦だけじゃない！オリンピックに熱い夏でした！

新潟県スポーツ少年団リーダー会 指導者 堀 つぐみ

一昨年度の東京オリンピックに合わせて開催予定でしたが、コロナ禍で延期となり、1年越しの開催となりました。今年度も感染拡大に伴いオンライン交流となり、生活を通して、両国間の集合形式での交流は叶いませんでしたが、共通テーマの意見交換をし、スポーツを通して自分達は何ができるのかについて考えました。また、ドイツのオリンピック選手からの講演やオリンピックについての歴史、SDGsについても学びました。普段の生活ではなかなか学べないことや選手村や合宿生活での情報がとても新鮮でした。参加者にとってはこの状況下でも貴重な経験となったことでしょう。感染が落ち着き、また皆に会えることを願っています。



自然の中で
団員のお手本となる
リーダーを目指そう！

令和4年度 ジュニア・リーダースクール開催のご案内



リーダーとはどういう人のこと？

スポーツ少年団では、各単位団活動において団員の気持ちを理解してグループをまとめるとともに、指導者と協力して団員を育てていく役割を担う団員をリーダーと呼んでいます。

この「ジュニア・リーダースクール」では、各単位団活動で団員のお手本となって活動することができる人を目標としスクーリングをしています。

こんなあなたにぴったり

- 学校や単位団以外の仲間をつくりたい。
- コミュニケーション能力を身に付けたい。
- 単位団でみんなをまとめられるようになりたい。
- 夏休みの思い出にしたい。

など

期日	令和4年8月6日(土)～8日(月) 2泊3日	参加料	1人9,000円 (食費を含む宿泊費は主催者で負担、交通費は参加者負担)
会場	国立妙高青少年自然の家	プログラム	レクリエーション、グループワーク、妙高アドベンチャー、スポーツ少年団についての学習など
対象	小学校5年生～中学校3年生まで		
募集定員	50名		

※正式な参加者募集については、各市町村スポーツ少年団又はスポーツ少年団登録システムを通じて案内します。

※国立妙高青少年自然の家が発出する「新型コロナウイルス感染症防止のための取組について～安心してご利用いただくために～」に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施いたします。

一緒に楽しく
活動しよう！

新潟県スポーツ少年団 リーダー会で活動する団員募集

新潟県スポーツ少年団リーダー会は、各単位団で活動するリーダーと一緒にジュニア・リーダースクールの運営をはじめとして、北信越ブロック事業や全国スポーツ少年団事業に参加するなど活動を展開しています。所属単位団以外のメンバーと活動することで、積極性や協調性などを養うことに繋がります。リーダー活動では、新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずありますが、来年度は皆さんと一緒に活動できることを楽しみにしています！

リーダー会はスポーツ少年団の単位団に登録している中学生以上の団員が入会することが可能ですので、興味のある団員は是非、入会をお願いいたします！

新潟県スポーツ少年団リーダー会 会長 北澤 凛

※正式なリーダー会の入会案内及び研修会開催通知については各市町村スポーツ少年団を通じて案内をいたします。

オリンピック東京大会・北京冬季大会出場選手 直筆サイン色紙を各選手1名様(団員)にプレゼント!

- A 平野 歩夢選手** スノーボード男子ハーフパイプ 金メダル
- B 志水 祐介選手** 水球男子 出場
- C 當銘 孝仁選手** カヌースプリント男子カナディアンシングル1000m 出場
- D 富田 せな選手** スノーボード女子ハーフパイプ 銅メダル
- E 富田 るき選手** スノーボード女子ハーフパイプ 5位
- F 平野 海祝選手** スノーボード男子ハーフパイプ 9位

応募方法 下記①～⑥を明記のうえ、はがき・郵便、FAX送信又はメール送信でご応募ください。
 ①希望する選手の記号(A～F) ②氏名 ③学年(「小学校6年」など) ④所属単位団名(〇〇スポ少など)
 ⑤郵便番号・自宅住所 ⑥連絡先 TEL (自宅電話又は保護者の携帯電話番号等)

応募先 新潟県スポーツ少年団「サインプレゼント係」宛
 FAX: 025-287-8601 E-mail: suposyo@niigata-sports.or.jp
 住所: 〒950-0933 新潟市中央区清五郎67-12 デンカビッグスワンスタジアム内

応募締切 令和4年4月28日(木)

- 応募者は、令和3年度登録又は令和4年度登録申請予定の「団員」に限ります。(指導者等とはご遠慮願います)
- 1人1選手1回の応募に限ります。(同じ選手に複数回の応募はできません)
- 1人で全選手を希望することはできませんが、それぞれ応募してください。(1枚に「全員希望」などは無効とします)
- スポーツ少年団の団員向けに特別に頂戴したものですので、転売等は行わないでください。
- 応募多数の場合は厳正なる抽選により決定いたします。 ●発表は発送(5月中旬)をもってかえさせていただきます。
- 応募により得た個人情報はこの企画(抽選・発送等)に関する業務以外には使用いたしません。

TM 共同法律事務所 TM LAW PARTNERSHIP OFFICE

～私たちは、地域企業や地域住民に密着したサービスを提供することにより
地域経済の発展・地域社会の発展に貢献したいと考えております～

弁護士 村田 有生
 弁護士 渡部 和哉
 弁護士 海藤 隆之

弁護士 塚野 洋平
 弁護士 齊藤 篤博



TM 共同法律事務所

TM LAW PARTNERSHIP OFFICE

〒950-0916 新潟市中央区米山4丁目1番31号 紫竹綜合ビル 305号

電話番号: 025-278-3438

営業時間: 9:00～18:00 / 定休日: 土曜・日曜・祝日



当事務所は、新潟で唯一『スポーツ法務』に力を入れている事務所です
 スポーツ事故、団体設立、スポーツ組織マネジメント等スポーツ法務、各研修・講演講師、会社企業関係法務、
 不動産、交通事故、相続、その他一般民事・家事・刑事事件等様々な分野を取り扱っております
 お気軽にご相談ください

ろうきんは
スポーツ少年団を応援しています。

ろうきん

ろうきんは さまざまな取り組みで 皆さまの暮らしを応援しています

ろうきん あんしんスマイル プロジェクト

活動期間 2020年4月1日～2022年12月31日

「あんしんスマイルプロジェクト」は、はたらく人、子どもたち、
そしてみんなが暮らす地域社会にたくさんの「あんしん」をお届けし、
たくさんの「スマイル」を生み出すプロジェクトです。

最新の各店舗の活動レポートはこちら！



皆さまの生活安定と 資産形成を応援します



- 情報提供活動
- アンケートの実施
- 商品・制度のご提案

子どもたちのお金の勉強を 応援します

各地の小・中・高・大学で
お金の授業を展開中！



- 出張授業の実施
- ワークショップの実施

地域コミュニティの 活性化を応援します



- 地域を良くする活動への参画
- 寄付活動への取組み
- 協働イベントの開催

地域社会を笑顔でいっぱい 新潟ろうきん×SDGs!

〈新潟ろうきん〉は、持続可能な社会の形成に貢献する
ための道標として、「SDGs達成に向けた行動ビジョン」
を策定しました。ビジョンに掲げる行動を実践し、すべて
の人々がお互いに支えあえる社会づくりをすすめます。



詳しくは
コチラから



お金の大切さを考える 絵本の作成・寄贈



「女性応援プロジェクト」の活動の一環として「お金の大切さ」を
考える絵本を作成し、県内の公立幼稚園・保育所・認定こども園等、
467施設へ寄贈しました。また、より多くの方に楽しんでいただける
ように、読み聞かせ動画を作成し、新潟ろうきんYouTube公式チャ
ンネルにて配信しています。

新潟ろうきんの女性職員が読んでいます！



読み聞かせ動画

ご視聴はコチラから！



「いじめ見逃しゼロ県民運動」の 企業・団体等サポーターです

「いじめ見逃しゼロ県民運動」は学校・家庭・地域社会が
連携し、児童生徒の社会性を育てると同時に、「いじめ
見逃しゼロ」の意識を共有し、それぞれの立場で児童生
徒に関わることを目的としています。ろうきんは「県民
サポーター募集」活動をはじめ、各種取組みに協力して
います。

いじめ見逃しゼロ 県民運動



新潟ろうきん

新潟ろうきん

検索



ご相談・お問い合わせはこちらから

店舗一覧

